

# 鎌倉市スマートシティ官民研究会/令和4年度第2回全体会 次第

日時  
場所

令和4年(2022年)11月28日(月)10:00~12:00  
鎌倉商工会議所地下ホール

## 1 | パートナー会員の追加選定について

- 全体説明 … 鎌倉市
- プレゼンテーション … インテル株式会社

## 2 | スマートシティ推進事業の進捗状況について

- 全体説明 … 鎌倉市
- オンライン共創プラットフォーム … 株式会社Liquitous
- データ連携基盤 … 富士通Japan株式会社

## 3 | スマートシティサービスのユースケースづくりについて

- 講演 … 一般社団法人コード・フォー・ジャパン
- トークセッション … スマートシティ推進参与 × 一般社団法人コード・フォー・ジャパン

## 4 その他

# 1 | パートナー会員の追加選定について①

## ○すでに選定済みのパートナー会員

	事業者名	鎌倉市のスマートシティの推進に向けて協力・提案する内容
1	江ノ島電鉄株式会社	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。</li><li>● 市民起点のアイデア、実証実験に対して、当社事業である鉄道、路線バス、不動産の各種事業資産やフィールドを提供するとともに、持続可能な共創に向けた各種支援を実施したい。</li><li>● ビジネス・アクセラレーター・かながわ(BAK)と連携したオープンイノベーションのコミュニティ形成の推進。</li></ul>
2	株式会社カヤック	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。</li><li>● コミュニティ通貨プラットフォーム「まちのコイン」を、次世代コミュニティの形成のための横串的なインフラとして提供。</li></ul>
3	医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。</li><li>● 医療機関への通院困難者(独居高齢者、治療都合者)へのスマートアクセスの構築を行う。</li><li>● TXP Medical株式会社や鎌倉市医師会、鎌倉市消防本部との連携による次世代救急医療体制の構築に向けた実証事業で培った経験、ノウハウの提供のほか、蓄積したオープンデータの提供に向けた検討を進める。</li></ul>
4	湘南モノレール株式会社	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地域課題&amp;モノレールの課題の解決に向けて、当社保有のアセットやフィールドを可能な範囲で適宜活用するとともに、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。</li><li>● 湘南モノレール及びみちのりグループでの交通オペレーターの知見とノウハウ、これまで国土交通省、鎌倉市などと取組んできた人流可視化事業、グループで取組んだDX実証実験等で培った経験を活かした提案を行う。</li></ul>
5	一般社団法人スマートシティ・インスティテュート	<ul style="list-style-type: none"><li>● 鎌倉市のスマートシティの取り組みのなかで、地域のWell-Beingを計測する指標(現状把握・目標設定・進捗管理等)として、Liveable Well-Being City 指標(LWCI)を活用することについて、鎌倉市をはじめ、市民や官民研究会参画企業等との共創の取組を進めること。</li></ul>
6	慶應義塾大学SFC研究所	<ul style="list-style-type: none"><li>● 令和2年(2020年)11月24日に鎌倉市と締結した「創造みらい都市の実現に関する包括連携協定書」に基づき、スマートシティをはじめとした次世代のまちづくりや、それに必要な人材育成、湘南地域への波及に向けた、本研究所の有する最先端のテクノロジーや知見の提供協力。</li><li>● 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」の取組における知見の提供や、フィールドにおける地域や市民との連携および啓発活動を通じ、データやテクノロジーを活用した、市民の地域課題解決力の向上支援への協力。</li></ul>

※企業(あいうえお順)、団体、大学の順で掲載

# 1 | パートナー会員の追加選定について②

## 【募集目的】

一般会員のうち、鎌倉市スマートシティの推進に対して「分野間連携の促進やデータ利活用の推進」などに積極的なご協力をいただける法人等を募り選定するもの。

<提案の例>

- 自社の製品、サービス、ソリューションの無償提供
- 自社の保有するチャンネルやデータの提供
- 鎌倉市を活動領域(フィールド)とした具体的な実証事業等の提案、共催事業の開催等の申し出

## 【選定基準】

- 鎌倉市内広域又は全国規模において一定以上のチャンネル・アセットを持つ企業・団体・大学
  - ・具体性(目的、内容(チャンネル、データや技術などのアセット)、提供範囲)
  - ・公益性(単なる営業活動は不可)
  - ・主体性(アドバイスや情報共有のみは不可)
- ※ 本市が令和4年度に業務委託する事業に関する提案をした事業者は本選定の対象外。  
EX. 合意形成PFの構築やデータ連携基盤の整備など

## 【経過】

- 令和3年12月 募集開始 延べ65事業者から応募
- 令和4年1月～3月 ヒアリング
- 令和4年4月～6月 選定に向けた個別調整

# 1 | パートナー会員の追加選定について③

## ○今回選定するパートナー会員

	事業者名	スマートシティで関心や実績のある分野	鎌倉市のスマートシティの推進に向けて協力・提案する内容
1	一般社団法人 コード・フォー・ジャパン	<ul style="list-style-type: none"><li>● データ連携基盤や住民参加型合意形成プラットフォームを活用した共創の取組</li><li>● 暮らしやすさと幸福度の指標(LWCI)の研究</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 官民共創の推進に関する知見の提供<ul style="list-style-type: none"><li>○ オープンデータの推進</li><li>○ データ連携の推進</li><li>○ ユースケースづくり</li></ul></li><li>● 人材育成に関する知見の提供と連携<ul style="list-style-type: none"><li>○ 市民との対話を目的とした各種イベントへの共催等</li></ul></li></ul>
2	インテル株式会社	<ul style="list-style-type: none"><li>● スマートシティ分野において専門チームを設置。半導体を活用したITソリューションをパートナーとともに提案</li><li>● 特に都市・交通においてデータを移動、保存、処理するための、AI、IoT、自動運転などのテクノロジーに投資し、地方公共団体にとっての「Trusted Advisor」として、データを中心としたデジタルトランスフォーメーションの仕組みを考え、具現化へのアプローチを推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 鎌倉市及びまちのデジタル化を推進するための取組(ワークショップの実施や実証実験の支援、ファシリテートや必要教材・機材の提案、準備等)</li><li>● インテルテクノロジーやユースケースを、セミナーやセッション等を通じて情報提供</li><li>● 鎌倉市での共同の取組みをイベントやカンファレンス等で日本国内やグローバルへ発信</li></ul>

## 2 | スマートシティ推進事業の進捗状況について

### (再掲)令和4年度スマートシティ事業計画

#### 【取組の方向性】

- 令和4年3月に策定した鎌倉市スマートシティ構想に基づき、リーディングプロジェクトを中心に、産官学民によるスマートシティサービスの実証、実装に向けた具体的な仕組みづくりを進める。
- 令和4年度は、本市のスマートシティの重要な要素である「市民起点」を充実・強化するため、より幅広い市民から意見を集め、政策に活かす「合意形成プラットフォーム(仮称)」の構築を進める。
- また市民のWell-Being向上(インパクト)を最終ゴールに位置付け、年間を通して市民対話等を展開するとともに、データ連携基盤の整備と「スマートシティサービス」の実証等を並行して進めていく。

#### 【取組内容】

【柱1】 多くの市民が参加できる合意形成プラットフォームの構築

【柱2】 データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充

【柱3】 官民協業のユースケース等の創出とスマートシティサービスの実証

【柱4】 戦略的広報と調査・研究の推進

## 【柱1】多くの市民が参加できる合意形成プラットフォームの構築

## 【柱2】データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充

### ○多くの市民が参加できる合意形成プラットフォームの構築

従来から行ってきたオンライン・オフラインの市民対話に加え、デジタル技術を活用した新たなプラットフォームを組み合わせ、より幅広い市民の意見を政策に生かす「市民参加型共創プラットフォーム(仮称)」を構築する。

○令和4年9月1日 委託契約締結 事業者:株式会社Liquitous 製品名:Liquid

○令和4年9月15日 オンライン共創プラットフォーム利活用部会発足

○令和4年10月3日～10月28日 庁内での試験運用

テーマ:広報に関する施策の検討「伝える」から「伝わる」広報へ 意見総数:74件/38名参加

対象:全職員 意見総数:74件/38名参加

○令和4年11月7日～ 地域での試験運用

テーマ:住み続けたいまち「西鎌倉」 / フィールド:西鎌倉地域

○令和5年1月～ 試験運用を経た全庁展開・地域横展開の検討



### ○データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充

データの仲介機能、認証・認可機能、APIゲートウェイ機能等を備えたデータ連携基盤を整備し、官民共創によるサービスを創出する基盤を構築する。

○令和4年7月15日 総務省「地域課題解決のためのスマートシティ推進事業」交付決定

○令和4年9月12日 委託契約締結

事業者:富士通Japan株式会社 製品名:シティプラットフォーム

○令和4年11月～ テスト環境の構築開始

○令和5年1月～ 本番運用環境の構築開始

○令和5年2月～ 官民データ(オープンデータ等)の利活用ワークショップの開催

データ連携基盤 運用開始(データの接続、BIツールを用いた可視化等)



# 【柱3】官民協業のユースケース等の創出とスマートシティサービスの実証①

## ○スマートシティ官民研究会の活動について

### 【目的・活動内容・会員参画状況】

- 企業、団体、アカデミアをはじめ多様な主体の積極的な参画と連携促進のため
  - \*本市におけるスマートシティに関する取組事例の情報発信等に関する活動
  - \*会員による地域課題の解決策等の提案及び実施に対する支援に関する活動
  - \*会員間の情報共有及び連携促進に関する活動

○一般会員 161団体(令和4年11月28日現在)      ○パートナー会員 6団体

### 【全体会】

#### ≪第1回≫

日時 | 令和4年7月20日(水曜日)9時00分～12時30分  
開催形式 | オンサイト(鎌倉芸術館)及びオンライン会議(ZOOM)  
議事内容

- パートナー会員の選定・パートナー会員からのプレゼンテーション
- 令和4年度鎌倉市事業計画について
- 事業化分科会等の活用について

#### ≪第2回≫

日時 | 令和4年11月28日(月)10:00～12:00(予定)/@商工会議所地下ホール  
議事内容

- 令和4年度鎌倉市スマートシティ事業の進捗状況について
- パートナー会員の追加選定・パートナー会員からのプレゼンテーション
- データ連携基盤を活用したユースケースの創出について(トークセッション)

### 【会員間マッチング・Slackコミュニティ開設】

- ・新たなサービス創出に向けてパートナー会員間、一般会員とのマッチングを実施。
  - 湘南モノレール×東急不動産
  - 湘南鎌倉総合病院× Y4.com
  - 江ノ島電鉄×NTTデータ
  - カヤック×住友生命
  - ほか、パートナー会員同士や鎌倉市とのミーティングを実施
- ・官民研究会Slackコミュニティを開設。
  - 松尾市長、スマートシティ推進参画、鎌倉市職員を含めた、現在105名が参画。
  - 自由に雑談、課題やアイデア等の発信をメンバーが行い、官民共創のプロジェクトの創発を目指すもの。

### 【パートナー会員の会議・モデル事業の検討】

- ・7月20日に選定したパートナー会員と合同及び個別ミーティングを実施。
  - 各社が持つデータのオープンデータ化の検討
  - データ連携基盤を活用した新しいサービスやソリューションの構想など
- ・一般会員からの実証等の提案のうち、市の課題感や事業課ニーズとの適合性やフィールドの調整の見通しが立った案件から順次実施予定。以下は現在検討中の案件。
  - 管理物件の情報共有・共通管理・可視化サービス(防災・減災/デジタルガバメント)
  - 屋内位置情報サービス(防災・減災/デジタルガバメント)
  - 避難所可視化サービス(防災・減災)
  - 市民の外出促進サービス(移動)
  - 買い物代行サービス(移動)

# 【柱3】官民協業のユースケース等の創出とスマートシティサービスの実証②

## ○スマートシティの進め方(再掲)



市民、企業、大学、行政



②登山者に(合意形成=納得)



③ザイルでつながって登る (共創=信頼)

# 【柱3】官民協業のユースケース等の創出とスマートシティサービスの実証③

## ○パートナー会員の共通目標【例】

コロナ

高齢化

渋滞・混雑

市民の外出を増やす  
(共通の目標【例】)

ユースケース

災害対策

賑わい

健康増進

交通不便  
(買物・通院など)

違法駐輪対策

脱炭素

人手不足

公共交通利用促進

# 【柱4】戦略的広報と調査・研究の推進

## ○FabCityの推進

### 庁内展示



約2000人の  
市民・職員の方々に  
見ていただきました



期間	令和4年9月28日(水)～令和4年10月7日(金)
内容	「Fabって何だろう？」をテーマに、まずは市民の方々に広く「Fab」を知ってもらうことを目的とした展示。実際に「Fab」(3Dプリンタ等)を使って作られたグッズの展示や3Dプリンタが実際に動く様子を公開するデモも行った。
市民の反応	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域での多世代交流イベントなどで活用したい。</li><li>・ 障害を持つ方々がアイデアを形にして、販売するなどできれば、いきがいの創出にも繋がりそう。</li></ul>

➡ 市民の方々だけでなく、職員の皆さんにも見ていただけたことで、広く「Fab」の可能性を知ってもらうことができた。

### ワークショップ



日時	令和4年10月22日(土)午前/午後(全2回)
タイトル	FAB CITY WORKSHOP～3Dプリンタで何が出来る？～
参加者	約40名(8歳から80代の方まで幅広い年代の方々が参加)
内容	3Dプリンタなどの「Fab」を「知る・体験する・考える」の3部構成で実施。 ①3Dプリンタをはじめとした「Fab」について知る。 ②実際に3Dモデリングを体験し、オリジナルキーホルダーを作成。 ③「Fab×日常生活」の可能性についてのワークショップを実施。

➡ 3Dプリンタを”楽しく”使ってもらえたこと、「Fab」の可能性を多世代の視点から考えられたことで市内に「Fab」が広がっていくための足がかりとなった。